

船舶事故調査報告書

平成28年12月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 平成28年5月25日 03時20分ごろ |
| 発生場所 | 鹿児島県屋久島町口永良部島南方沖 口永良部港防波堤灯台から真方位173° 2,900m付近 (概位 北緯30° 25.9′ 東経130° 11.8′) |
| 事故の概要 | 漁船第五福德丸は、漂流中、風潮流に圧流され、浅所に乗り揚げた。 |
| 事故調査の経過 | 平成28年5月26日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 漁船 第五福德丸、9.51トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | KG2-4552（漁船登録番号）、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型・特殊・特定 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 右舷中央部船底外板に破口 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 南、風力 1、視界 不良 海象：波高 約1m 潮汐 下げ潮の末期、潮高 約130cm |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、口永良部島南西方の漁場に向けて口永良部漁港を出港して南西進中、主機クラッチが不調となり、漂流状態となった。 本船は、船長が、主機クラッチに潤滑油を補給していたところ、西からの風潮流により圧流され、口永良部島南方の浅所に乗り揚げた。 本船は、自力で離礁し、来援した救援船にえい航されて口永良部漁港に入港した。 |
| 分析 | 本船は、主機クラッチが不調となり、漂流状態となったことから、風潮流に圧流されて、口永良部島南方の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、主機クラッチが不調となり、漂流状態となったため、風潮流に圧流されて口永良部島南方の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |